

## 八尾市立病院経営計画(Ver.Ⅲ)の実施状況／平成30年度

### 1. 公立病院としての役割を果たす取り組み

経営計画の項目【1】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等
(1)地域医療支援病院としての役割		
①紹介・逆紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介率 年間 50.0 %以上</li> <li>・逆紹介率 年間 70.0 %以上</li> <li>・初診紹介患者数 年間 13,130 人</li> <li>・逆紹介(診療情報提供)件数 年間 18,300 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医等への積極的な逆紹介(紹介↔逆紹介の好循環)</li> <li>・診療機能を充実させることによる紹介件数の増加</li> <li>・積極的なPRによる登録医・登録医療機関の増加</li> <li>・高度医療機器の共同利用による検査件数等の増加</li> </ul>
②地域医療連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病診薬連携ネットワークシステムの情報共有件数 年間 1,300 件</li> <li>・地域の医療従事者・医療機関等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「八尾市立病院 病院・診療所・薬局連携ネットワークシステム」の運用拡大</li> <li>・地域連携クリティカルパスの適用拡大</li> <li>・地域の医療従事者・医療機関等との会議、研究会等の開催</li> <li>・医療機関への広報(診療機能のPR)</li> </ul>
③訪問看護の支援	・在宅医療の充実	・認定看護師による同行訪問看護の運用

<評価>

A→目標を達成または目標とする状況を実現  
B→項目により目標に届かないものがあるが、概ね目標とする状況を実現  
C→取り組みは一定進めたが目標未達成 D→具体的に進まず

	H30年度の実施状況				評価	取り組みの評価・課題等
	<H30年度実績>					
	項 目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	
	紹介率(%)	53.0	106.0	(58.6)		B
	逆紹介率(%)	75.2	107.4	(85.2)		
	初診患者数(人)	36,958		36,229	729	
	初診紹介患者数(人)	12,162	92.6	(13,092)		
	診療情報提供数(件)	17,257	94.3	(19,022)		
	登録医(人)	560		533	27	
	登録医療機関(件)	462		440	22	
	<H30年度実績>(件)					
	項 目	H30	(うち登録医)	H29	H30-H29	
	主要機器の共同利用件数	1,666	(1,206)	1,598	68	
	うちCT検査	693	(560)	666	27	
	うちMRI検査	559	(378)	521	38	
	うち内視鏡	110	(73)	123	△ 13	
	<H30年度実績>(件)					
	項 目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	
	接続医機関数	92		87	5	
	情報共有件数	2,791	214.7	2,264	527	
	地域連携バス適用件数	46		27	19	
	うち脳卒中	16		14	2	
	うち大腿骨頸部骨折	30		13	17	
	<H30年度実績>(件)					
	項 目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	
	大阪府病院協会 佐々木総長が会長に就任					
	・地域医療支援委員会の開催(年4回) 委員会: 6/5、9/4、12/4、3/5					
	・中河内医療安全対策連携協議会(3/28) ※H30.3.29立ち上げ					
	・中河内医療圏がん診療ネットワーク協議会 運営会議 年3回(5/10, 9/13, 12/13)、本会 年2回(6/14, 2/21)					
	・中河内地域感染防止対策協議会 合同カンファレンス 年2回(10/13, 2/16)、 個別カンファレンス 年7回(5/2, 6/6, 7/4, 8/8, 9/5, 12/5, 1/9)					
	・市内病院事務長会議(隔月)					
	・大阪府医師会勤務医部会第4ブロック会議(年4回)					
	・八尾地域医療合同研究会(10/27)					
	<H30年度実績>(件)					
	項 目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	
	同行訪問看護件数	6			6	
	& H30.4月より実施					
	<H30年度実績>(件)					
	項 目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	
	同行訪問看護件数	6			6	
	& H30.4月より実施					

※「実施状況」欄における「進捗率(%)」は、経営計画(Ver.Ⅲ)で設定した平成30年度の年間目標に対する年間の実績

※「取り組みの評価・課題等」欄における「前年度」の実績は、特に注記が無い限り、前年度上半期の実績

経営計画の項目【1】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等	H30年度の実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																														
④情報提供	・地域の住民及び医療従事者への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院公開講座、出前講座等の開催</li> <li>・地域の医療従事者に対する研修会、講演会等の開催</li> <li>・地域住民に対する情報発信</li> <li>・保健所、学校等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八尾市立病院公開講座の開催 6回 (5/19、6/23、7/28、10/21、12/15、3/9)</li> <li>・Take ! ABI 2018 in 八尾 (10/21)</li> <li>・出前講座 9回(4/17、6/18、7/21、8/8、8/16、9/12、10/14、2/4、2/17)</li> <li>・健康相談(看護部)、お薬相談(薬剤部) ※公開講座開催時等</li> <li>・大阪広域医療情報交換会(9/15)ブリズムホール</li> <li>・中河内医療圏がん診療ネットワーク協議会(シンポジウム2/2)</li> <li>・在宅医療講演会(10/6) ※健康まちづくり宣言記念式典と同日開催</li> <li>・緩和ケア研修会(10/27・28、3/9)</li> <li>・市政だより・ホームページでの広報</li> <li>・市立病院だよりの発行</li> <li>・FMちやおへの出演</li> <li>・公開講座(保健所共催): ジェネリック医薬品の啓発(3/9)</li> <li>・八尾市教育委員会 教職員を対象としたがん教育(7/23)</li> <li>・市内中学校でのがん教育: 龍華中学校(10/22)</li> <li>・地域生徒の職業体験受入</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民への情報発信について、市立病院への理解を深めてもらうことを目的として、八尾市立病院公開講座を6回実施したほか、地域からの要望に応えて、市民の健康意識の向上に寄与するために、出前講座を9回実施した。また、講座にあわせて、看護部による健康相談と薬剤部によるお薬相談も継続して実施した。</li> <li>・10月6日に開催された「八尾市健康まちづくり宣言」の記念式典では、看護部による健康相談と薬剤部によるお薬相談を実施して協力した。また、宣言による健康づくりの機運を医療従事者や介護関係者に広げることを目的に、同日他会場で在宅医療講演会を実施し、市と連携した取り組みを進めた。</li> <li>・学校との連携では、義務教育期間でのがん教育を推進するため、教職員向けのがん教育を実施するとともに、今年も龍華中学校でがん教育の授業を行った。</li> <li>・保健所との連携については、H31.3月にジェネリック医薬品啓発のための公開講座を保健所との共催で実施した。</li> </ul>																														
(2)救急・小児・周産期 医療の継続			<H30年度実績> (件・人)	A																															
①救急医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急診療体制の維持</li> <li>・「断らない救急」の実践</li> <li>・救急搬送受入数 年間 4,100 人</li> <li>・救急からの入院数 年間 2,600 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の確保による体制の維持</li> <li>・救急医療活性化の取り組み</li> <li>・ベッド確保(ベッドコントロール)</li> <li>・心臓コード、脳神経外科、形成外科の救急受け入れの継続</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>H30</th><th>進捗率(%)</th><th>H29</th><th>H30-H29</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急診療体制</td><td colspan="4">内科・外科・小児科 継続</td></tr> <tr> <td>救急患者数</td><td>22,815</td><td></td><td>21,699</td><td>1,116</td></tr> <tr> <td>救急搬送受入数</td><td>4,664</td><td>113.8</td><td>4,026</td><td>638</td></tr> <tr> <td>救急からの入院数</td><td>2,876</td><td>110.6</td><td>2,631</td><td>245</td></tr> </tbody> </table> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科・外科 → 24時間365日</li> <li>・小児救急 → 中河内医療圏での輪番制(毎週火・土)</li> <li>・一部診療科でのオンコールによる対応</li> </ul> <p>(救急医療活性化の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「断らない救急」の一層の徹底</li> <li>・救急担当医による入院患者の主治医受け持ち</li> <li>・症例カンファレンスを毎週実施</li> </ul> </p>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	救急診療体制	内科・外科・小児科 継続				救急患者数	22,815		21,699	1,116	救急搬送受入数	4,664	113.8	4,026	638	救急からの入院数	2,876	110.6	2,631	245		<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療については、新たな救急診療科部長の着任により、「断らない救急」の一層の徹底、救急担当医による入院患者の主治医受け持ち、症例カンファレンスの毎週実施など救急医療活性化の取り組みを次々に進めた。</li> <li>・救急医療活性化の取り組みの効果もあり、前年度実績に比べて、救急搬送受入数は638人増、救急からの入院数も245人増となり、いずれも目標を大きく上回った。</li> <li>・救急患者数は、前年度実績に比べて、小児救急の患者は418人減少したが、それ以外の救急患者が1,534人増加しており、全体で1,116人増加した。今後も、救急受け入れ体制を充実させ、救急搬送受入による患者数の増加をめざしていく。</li> </ul>					
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
救急診療体制	内科・外科・小児科 継続																																		
救急患者数	22,815		21,699	1,116																															
救急搬送受入数	4,664	113.8	4,026	638																															
救急からの入院数	2,876	110.6	2,631	245																															
②小児医療			<H30年度実績> (件)	A																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児医療体制の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の確保による体制の維持</li> <li>・中河内医療圏での輪番制による救急医療への協力</li> <li>・病床の有効活用</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>H30</th><th>進捗率(%)</th><th>H29</th><th>H30-H29</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児救急医療</td><td colspan="4">輪番制(毎週火・土) 継続</td></tr> <tr> <td>食物アレルギー負荷試験</td><td>221</td><td></td><td>221</td><td>0</td></tr> <tr> <td>成長ホルモン負荷試験</td><td>62</td><td></td><td>100</td><td>△ 38</td></tr> </tbody> </table> <p>・重症心身障がい児の短期入院受入れ(22件、延べ142人)</p>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	小児救急医療	輪番制(毎週火・土) 継続				食物アレルギー負荷試験	221		221	0	成長ホルモン負荷試験	62		100	△ 38		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児救急医療については、中河内医療圏で輪番制となつており、当院は毎週火・土曜日の担当を継続して実施した。</li> <li>・小児科では、低身長・食物アレルギー疾患に対する啓発活動、検査入院の受け入れ等を継続して実施した。なお、H29年度は文部科学省から成長曲線を使った評価をするように学校に指導があり、スクリーニングされた児童等の件数が特別に多かったが、H30年度は本来の件数に戻った。</li> </ul>										
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
小児救急医療	輪番制(毎週火・土) 継続																																		
食物アレルギー負荷試験	221		221	0																															
成長ホルモン負荷試験	62		100	△ 38																															
③周産期医療			<H30年度実績> (件)	B																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期医療体制の維持</li> <li>・分娩件数 年間 800 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の確保による分娩体制の維持</li> <li>・地域周産期母子医療センターとしてOGCS、NMCSによる受け入れ</li> <li>・ハイリスク分娩の受け入れ</li> <li>・近隣の病院、産婦人科医院との連携</li> <li>・助産外来の運用</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>H30</th><th>進捗率(%)</th><th>H29</th><th>H30-H29</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td><td>780</td><td>97.5</td><td>821</td><td>△ 41</td></tr> <tr> <td>OGCS、NMCS等による搬送受入件数 ※1</td><td>31</td><td></td><td>30</td><td>1</td></tr> <tr> <td>NICU病床利用率(%)</td><td>52.2</td><td></td><td>62.2</td><td>△ 10.0</td></tr> <tr> <td>異常分娩件数</td><td>194</td><td></td><td>219</td><td>△ 25</td></tr> <tr> <td>助産外来件数 ※2</td><td>207</td><td></td><td>105</td><td>102</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 OGCS、NMCS、当院出生児で2,000g未満のNICU入院児数 ※2 助産外来については、H29.4月に開設</p>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	分娩件数	780	97.5	821	△ 41	OGCS、NMCS等による搬送受入件数 ※1	31		30	1	NICU病床利用率(%)	52.2		62.2	△ 10.0	異常分娩件数	194		219	△ 25	助産外来件数 ※2	207		105	102		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩件数については、過去最高だった前年度と比べると41件減少したが、限られた産科医の体制で、780件の分娩に対応しており、本市の周産期医療の中核病院としての役割を果たした。</li> <li>・NICUの病床利用率については、産科における早産への対応力の向上と他院も含めた母体管理の向上に加え、当院周辺の病院におけるNICUの整備が進んだことにより減少した。</li> <li>・妊産婦の多様なニーズに応じて、安心・快適なお産の場を提供するため、H29.4月に助産外来を開設したが、順調に定着しており、前年度実績に比べて倍増の207件となつた。</li> </ul>
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
分娩件数	780	97.5	821	△ 41																															
OGCS、NMCS等による搬送受入件数 ※1	31		30	1																															
NICU病床利用率(%)	52.2		62.2	△ 10.0																															
異常分娩件数	194		219	△ 25																															
助産外来件数 ※2	207		105	102																															

経営計画の項目【1】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等	H30年度の実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																																								
(3) 疾病予防事業の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドック及び各種健診等の実施体制の維持</li> <li>・治療や検査に支障のない範囲での、各種健診、予防接種の受け入れ</li> <li>・禁煙外来の継続実施</li> <li>・実施手法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドックの継続実施</li> <li>・乳がん検診</li> <li>・子宮がん検診</li> <li>・大腸がん検診</li> <li>・特定健診</li> <li>・禁煙外来</li> </ul>	<p>&lt;H30年度実績&gt; (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック</td> <td colspan="2">週2回の実施</td> <td colspan="2">継続</td> </tr> <tr> <td>人間ドック件数</td> <td>702</td> <td></td> <td>758</td> <td>△ 56</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>1,577</td> <td></td> <td>1,726</td> <td>△ 149</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>651</td> <td></td> <td>573</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>157</td> <td></td> <td>159</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>832</td> <td></td> <td>902</td> <td>△ 70</td> </tr> <tr> <td>禁煙外来</td> <td colspan="2">週1回の実施</td> <td colspan="2">継続</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人間ドックの実施手法の変更(H31以降) 胃透視(バリウム)検査の枠を胃カメラ検査の枠に変更 ※水曜日の胃透視検査8枠のうち6枠を胃カメラ検査に変更</p> <p>・特定健診の実施手法の変更(H31以降) 当日申込み ⇒ 予約制 ※平日(水曜除く)に毎日定員10名</p>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	人間ドック	週2回の実施		継続		人間ドック件数	702		758	△ 56	乳がん検診	1,577		1,726	△ 149	子宮がん検診	651		573	78	大腸がん検診	157		159	△ 2	特定健診	832		902	△ 70	禁煙外来	週1回の実施		継続		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドックは、前年度実績に比べて56件減少したが、毎週月曜(3枠)・水曜(8枠)の週2回を継続して実施した。 また、H31.4月からは検査の有用性を踏まえ、胃透視(バリウム)検査の枠を一部残して、胃カメラ検査に移行することを決定した。</li> <li>・乳がん検診については、一時期は注目が集まり増加傾向だったが、現在は落ち着いてきており、検診件数は減少に転じている。なお、疾病予防事業については、今後も市と連携して取り組みを進めることを決定した。</li> <li>・特定健診については、H31.4月からは予約制として、水曜日を除く平日に定員10名という方法で実施することを決定した。</li> </ul>
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																																									
人間ドック	週2回の実施		継続																																										
人間ドック件数	702		758	△ 56																																									
乳がん検診	1,577		1,726	△ 149																																									
子宮がん検診	651		573	78																																									
大腸がん検診	157		159	△ 2																																									
特定健診	832		902	△ 70																																									
禁煙外来	週1回の実施		継続																																										
(4) 危機事象への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市災害医療センターとしての機能強化</li> <li>・保健所との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対応訓練の継続実施</li> <li>・災害時対応資器材の充実及び食糧備蓄の確保</li> <li>・大規模災害発生時のBCPの更新</li> <li>・院内防災マニュアルの更新</li> <li>・八尾市地域防災計画の改定</li> <li>・健康危機事象への連携対応</li> </ul>	<p>&lt;H30年度実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害対応訓練の実施</td> <td colspan="2">訓練実施</td> <td colspan="2">継続</td> </tr> </tbody> </table> <p>・トリアージ・応急救護訓練の実施(10/4) ※災害時緊急メール配信訓練も同時実施</p> <p>・自衛消防自主訓練の実施(12/6)</p> <p>・自衛消防総合訓練(2/22) ※8階西病棟</p> <p>・災害対応資器材の整備、備蓄食料の更新</p> <p>・大規模災害時のBCP(事業継続計画)の点検</p> <p>・院内防災マニュアルの更新</p> <p>・八尾市地域防災計画の改定(保健所との役割分担) 市立病院…市災害医療センターに特化 ※災害時医療体制の整備は保健所業務に移管</p> <p>・新型インフルエンザ対応合同訓練の実施(2/6) ※保健所と共に</p>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	災害対応訓練の実施	訓練実施		継続		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害を想定したトリアージ・応急救護訓練については、保健所職員も訓練に参加して実施し、設営からトリアージ、応急救護まで約100名の職員がそれぞれの役割を確認しながら迅速に対応した。また、同訓練に合わせて、災害時緊急メール配信訓練も実施し、緊急時の連絡方法の確認も行った。</li> <li>・市災害医療センターとしての機能充実に向け、災害用備品の整備を進めるとともに、備蓄食料については、整備計画に基づき、5年間毎年購入して備蓄したものを作成後は毎年更新していくことになり、その30年度分を更新した。</li> <li>・八尾市地域防災計画については、H30.4月からの市保健所の設置に伴い、当院が医療班として担当していた“災害時医療体制を整備する”という役割等が保健所に移管されたことで、当院は市災害医療センター班に変更になり、市災害医療センターとしての役割に特化できるように改定が行われた。</li> <li>・H31.2月には、新型インフルエンザに対応する訓練を市保健所と合同で実施し、健康危機事象に対する連携を強化した。</li> </ul>																														
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																																									
災害対応訓練の実施	訓練実施		継続																																										

## 2. 医療の質の向上に対する取り組み

経営計画の項目【2】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等
(1)がん診療の充実	①がん診療体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者数 年間 2,180 件</li> <li>・がん手術件数 年間 1,210 件</li> <li>・放射線治療件数 年間 8,350 件</li> <li>・外来化学療法件数 年間 4,750 件</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の実施</li> <li>・緩和ケア、がん相談支援の継続実施</li> <li>・がん診療地域連携クリティカルパスの適用拡大</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域がん診療連携拠点病院の指定継続</li> <li>・患者と家族のQOL(生活の質)の向上</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんに関する協議会、研修会等の実施</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんに対する情報提供</li> <li>・がんに関する市民への情報提供</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数 年間 4,400 件</li> <li>・全身麻醉手術件数 年間 3,080 件</li> <li>・鏡視下手術件数 年間 850 件</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な運用による手術、全身麻醉手術、鏡視下手術等の増加</li> <li>・低侵襲な治療による患者の早期回復</li> <li>・手術室の効率的運用</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各チームでの活動の活性化</li> <li>・チーム医療活動の成果発表会の開催</li> </ul>

H30年度の実施状況	評価	取り組みの評価・課題等			
<H30年度実績> (件・人)		B			
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	
がん患者数	2,420	111.0	2,243	177	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者数は、前年度実績に比べて177人増加して2,420人となり、目標を上回った。ただ、がん患者の手術件数については、前年度実績に比べて若干増加したものの目標を下回った。</li> </ul>
がん手術件数	1,185	97.9	1,169	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線治療については、照射回数や1回照射量等の効果的効率的な運用に努めたことで、件数は減少しているものの、稼働額では約1,800万円増の2億6,393万円となった。</li> </ul>
放射線治療件数	7,482	89.6	7,554	△ 72	
外来化学療法件数	5,061	106.5	4,782	279	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学療法件数については、オブジーボ等の抗がん剤を使用した治療が増加したため、279人増加して5,061人となり、目標を上回った。</li> </ul>
緩和ケア新規介入件数	121		108	13	
がん相談件数	2,243		(1,221)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん診療地域連携クリティカルパスの運用件数は、乳がん件数の増加等により、前年度実績に比べて194人増加して890人となった。</li> </ul>
〃 (新規)	673		(447)		
がん診療地域連携クリティカルパス運用数	890		696	194	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん相談件数については、特に入院に係る相談件数が増加しており、全体で2,243件と前年度実績に比べ倍増した。</li> <li>・また、就労支援については、H30.11月からは、がん相談担当者が社労士に無料で相談できる「がん就労支援ホットライン」を開始し、ハローワークの専門相談員が出張相談する「長期療養者に対する就職支援事業」をH31.4月から実施することを決定するなど、さらなる体制の充実に努めた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝臓がんよろず専門外来(2件)</li> <li>・アピアランスケア ミニ講座(5/31、11/27)</li> <li>・ピンクリボン運動「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー」参加</li> <li>・がん就労支援ホットラインの開始(11/1) がん相談担当者が社労士に無料で相談できる体制整備</li> <li>・長期療養者に対する就職支援事業への参画(H31.4月開始) ハローワークの専門相談員が無料出張相談する体制整備 ※毎月第3木曜日の午後に3枠</li> <li>・地域がん診療連携拠点病院の指定更新に向けた取り組み がん連携運営委員会にて指定要件を満たす取り組み ※経過措置により、1年間の指定更新となった。</li> <li>・患者サロン、ミニ勉強会等の継続開催</li> <li>・がん患者とその家族を対象にした展示 「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」開催(5/29~6/15)</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中河内医療圏がん診療ネットワーク協議会→1-(1)②</li> <li>・緩和ケア研修会→1-(1)④</li> <li>・保険薬局向けのがんパス説明会(12/1)</li> <li>・市立病院公開講座→1-(1)④</li> <li>・市内中学校でのがん教育事業→1-(1)④</li> </ul>		A			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中河内医療圏がん診療ネットワーク協議会に参加するなど、がんに関する地域のネットワークづくりに努めた。</li> <li>・市民に対しては、公開講座や学校と連携したがん教育などで、がんに対する情報提供に努めた。</li> </ul>					
(2)医療機能の向上	①高度手術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数 年間 4,400 件</li> <li>・全身麻醉手術件数 年間 3,080 件</li> <li>・鏡視下手術件数 年間 850 件</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な運用による手術、全身麻醉手術、鏡視下手術等の増加</li> <li>・低侵襲な治療による患者の早期回復</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術室の効率的運用</li> </ul>			
②チーム医療	②チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム医療の推進</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各チームでの活動の活性化</li> <li>・チーム医療活動の成果発表会の開催</li> </ul>			
<H30年度実績> (件)		A			
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央手術室における手術件数は、前年度実績に比べて整形外科で192件、外科で111件増加するなど、全体で365件増加して4,699件となり、目標を上回った。</li> <li>・全身麻醉手術件数は、前年度実績に比べて150件増加して3,215件となり、鏡視下手術件数は、58件増加して896件となり、いずれも目標を上回った。</li> <li>・効果的な手術枠の運用のため、手術室のフリー枠を外科や整形外科等に割り当てる変更をしたことも手術件数が増加した要因のひとつと考えている。</li> </ul>
手術件数(全体) ※1	4,699	106.8	4,334	365	
全身麻醉手術件数	3,215	104.4	3,065	150	
鏡視下手術件数 ※2	896	105.4	838	58	
<ul style="list-style-type: none"> <li>※1 中央手術室において実施する手術</li> <li>※2 鏡視下手術とは、腹腔鏡下手術と胸腔鏡下手術の総称</li> <li>・効果的な運用のため手術枠を必要な診療科に割当て</li> </ul>					
<H30年度実績>		A			
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の質の向上のために複数の職種のスタッフがチームを組んで行う「チーム医療」については、チーム医療推進委員会を中心に活動を継続し、その活動内容を院内にて発表した。</li> <li>・H30年度から新たに糖尿病診療チームと抗菌薬適正使用支援(AST)チームが加わり、活動チームは9チームに増え取り組みを進めた。</li> </ul>
チーム医療活動	チーム医療推進委員会を中心とした活動、発表会の開催		継続		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動チーム数 9チーム 化学療法、院内感染対策(CTC)、周術期血栓対策、呼吸器ケア、栄養管理、褥瘡対策、緩和ケア、(以下新規)糖尿病診療、抗菌薬適正使用支援(AST)</li> <li>・発表会 3/19に実施 (中間報告は10/23)</li> </ul>					

経営計画の項目【2】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等	H30年度の実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																														
③院内クリニカルパス	・院内クリニカルパス適用率 64.0 %	・院内クリニカルパスの適用拡大  ・パスセミナー等の開催	<H30年度実績> (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者に対する院内クリニカルパス適用率</td> <td>73.4</td> <td>114.7</td> <td>68.5</td> <td>4.9</td> </tr> </tbody> </table> ・パスセミナー(6/12)、パス作成の操作説明会(11/13) ・院内バス大会(3/12)	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	入院患者に対する院内クリニカルパス適用率	73.4	114.7	68.5	4.9	A	・院内クリニカルパスの適用を着実に進めるために、バスセミナーやバス作成の操作説明会を実施した結果、前年度実績に比べて4.9ポイント上昇して目標を上回り、治療の標準化がさらに進み、平均在院日数の減少にもつながった。  ・3月には院内バス大会を開催し、クリニカルパスの適用拡大に向けた取り組みを進めた。																				
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
入院患者に対する院内クリニカルパス適用率	73.4	114.7	68.5	4.9																															
(3)病床機能の見直し	・医療ニーズに対応した病床機能による効率的運用	・医療ニーズを踏まえた病床の効果的運用に向けた改善策の継続的検討  ・小児科病床の一部を一般急性期病床に再編	<H30年度実績> (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床機能の見直し</td> <td>医療ニーズに対応した見直し</td> <td>継続</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・地域医療構想を考える会議等への参加 ・小児科病床の一部を一般急性期病床に再編・整備 6階西病棟…小児専用病床(38床→33床) 6階東病棟…小児・成人病床(0床→5床) ブレイルーム、院内学級を移設 ・緊急緩和ケア病床の設置が必要 5階東に2床、8階東に4床を優先病床として位置付け ※これに伴い、救急病床のうち5階東の8床を8階西に移設	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	病床機能の見直し	医療ニーズに対応した見直し	継続			A	・中河内医療圏での地域医療構想における病床機能を考える中河内医療連絡会、中河内医療・病床懇話会等の会議に幹部職員が参加し、意見交換を行った。  ・一般病床の高稼働の状況を受け、病床の効率的運用のために、小児科病床を小児患者も成人患者も利用できる小児・成人病床として5床を再編する整備を行った。																				
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
病床機能の見直し	医療ニーズに対応した見直し	継続																																	
(4)医療安全・感染防止	・安全で安心な治療環境	・院内ラウンドの実施  ・マニュアルの整備  ・医療事故や院内感染の事例分析  ・協議会への参加  ・改善方策の院内共有化、研修会・講演会等の開催	<H30年度実績> (%) ・医療安全推進部会では、注射・点滴ラウンドと環境ラウンドを年2回実施(6/13、11/14) ・院内感染対策委員会ではラウンドを週1回実施 ・標語の電子カルテシステムへの掲載 ・中河内医療安全対策連携協議会に参加 ・中河内地域感染防止対策協議会に参加 ・院内スタッフを対象とした医療安全講演会(12/3、3/5) ・院内スタッフを対象とした院内感染対策講演会(10/11、3/7)  ・院内感染対策委員会 手指消毒剤の看護師個人携帯の実施(H30.10月から) 手指消毒剤の設置場所の変更(病室前⇒廊下側入り口)	A	・計画に従い、医療安全管理室、医療安全管理委員会、感染対策管理室、院内感染対策委員会を中心に、医療従事者への情報の周知、職場の巡視、協議会への参加、講演会の開催等に取り組んだ。  ・重大なアクシデントもなく、安全な医療を実践した。																														
(5)患者満足度の向上	・患者やその家族との信頼関係の向上  ・接遇の向上  ・市民参画による病院経営  ・患者サービスの向上と組織の活性化	・患者満足度調査結果を踏まえた改善  ・利用者からの意見に対する対応  ・接遇の向上のための研修会等の実施  ・接遇の向上のための研修会等の実施  ・病院ボランティア活動の継続実施  ・院内TQM活動の継続  ・患者サービス向上の取り組み	<H30年度実績> (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者満足度</td> <td>96.7</td> <td></td> <td>94.6</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外来患者満足度</td> <td>91.5</td> <td></td> <td>90.4</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> ※H30年度は12/3～12/9に実施、入院・外来とも回答者のうち総合的な評価で「満足」又は「やや満足」と回答した人の割合  ・利用者からの意見に対する対応、結果の公表 ・職員を対象に接遇研修会(5/30)を実施 ・接遇強化月間の設定による接遇の意識向上(11月) ・接遇改善委員会でH30.3月に更新した接遇マニュアルの推進 ・Best Hospitality賞(接遇大賞)の継続実施  <H30年度実績> (人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院ボランティア登録数</td> <td>20</td> <td></td> <td>17</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>TQM活動実績</td> <td>研修会・活動・発表会</td> <td></td> <td>継続・展開</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・TQM活動実行委員会による活動 委員会による進行管理、活動発表会(2/19)の実施 参加チーム数 10チーム(病院:5、PFI:5)  ・院内ギャラリーの更新(10/1) ・院内ロビーコンサートの継続実施(6/9、10/27、3/16)	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	入院患者満足度	96.7		94.6	—	外来患者満足度	91.5		90.4	—	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	病院ボランティア登録数	20		17	3	TQM活動実績	研修会・活動・発表会		継続・展開		A	・入院・外来患者アンケートを実施し、満足度は入院・外来ともに前年度実績を上回った。また、アンケート結果を業務改善に生かして、さらに満足していただけるように努めた。  ・患者から寄せられた様々な声は、接遇改善委員会において対応を検討し、これらの情報を院内に提供した。また、接遇研修として講演会の開催などを実施し、接遇向上に努めた。  ・院内の表彰制度(Best Hospitality賞)については、患者からの感謝、お礼の投書や手紙によるもののか、所属長等からの推薦があった職員についても選考の対象とし、平成30年度は、団体表彰1所属、特別表彰として個人1名が選ばれた。  ・病院ボランティアについては、20の方に外来での案内や患者誘導に従事いただいた。  ・TQM活動は、PFI事業者を含めた10チームが参加し、業務改善、患者サービスの向上に向けて活動し成果を発表した。
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
入院患者満足度	96.7		94.6	—																															
外来患者満足度	91.5		90.4	—																															
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
病院ボランティア登録数	20		17	3																															
TQM活動実績	研修会・活動・発表会		継続・展開																																

### 3. 健全経営の確保に対する取り組み

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等
(1) 医療スタッフの確保と人材育成		
① 医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度の計画数 正職員 85 人 嘱託員 23 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療方針・機能、医療ニーズに対応した診療科医師の重点確保</li> <li>・各大学医局への働きかけを継続</li> <li>・派遣大学との人事交流の促進</li> <li>・合同説明会への参加</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備による医療機能の向上</li> <li>・医局など勤務環境の整備</li> <li>・医師事務作業補助者の配置継続</li> <li>・院内保育ルームの活用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修プログラムの充実</li> <li>・専門研修プログラムの充実</li> </ul>
② 看護師、医療技術員等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度の計画数 看護師 328 人 医療技術員 71 人 事務職員 19 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な職員確保のため職員採用試験を隨時実施</li> <li>・非正規職員等の隨時採用と活用</li> <li>・職員採用情報の市政だより等での広報</li> <li>・再就職支援事業への協力</li> <li>・施設基準・診療報酬加算の確保</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な勤務形態の検討</li> <li>・時間帯や各職場の需要に応じた柔軟な人員配置と応援体制の継続</li> <li>・実習生の積極的な受け入れ</li> <li>・院内保育ルームの活用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会及び研修会への派遣</li> <li>・専門資格取得等の支援の継続</li> <li>・認定看護師の育成</li> </ul>
③ 医業収益と給与費とのバランスの維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医業収益に対する職員給与費の割合 48.5 %以下</li> </ul> <p>※地方公営企業会計基準による職員給与費から算出した比率</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間帯や各職場の需要に応じた人員の適正配置</li> <li>・診療報酬上の施設基準や加算の取得、高度医療の推進による収益向上により、相対的に給与費比率を抑制</li> </ul>

H30年度の実施状況					評価	取り組みの評価・課題等
<H30年度実績> ※各年度とも翌年4月1日現在 (人)					B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H31.4月の医師数については、医師確保の取り組みを行ったものの、正職が前年4月より5人減となっており、目標を4人下回ったが、嘱託で目標より5人上回ったことで、全体では目標を1人上回った。</li> </ul>
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29		
正職員	81	95.3	86	△ 5		
嘱託	28	121.7	26	2		
※臨床研修医を除く						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学病院等への訪問活動の継続</li> <li>・民間医局レジナビフェア(臨床研修プログラム)(7/1)、専攻医合同説明会(6/3)、近畿厚生局病院説明会(3/2)</li> <li>・大阪市立大学説明会(10/27)、大阪大学説明会(3/16)</li> </ul>						
・医師人材紹介事業会社への医師斡旋依頼						
<H30年度実績> ※各年度とも翌年4月1日現在 (人)						
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29		
医師事務作業補助者	29		27	2		
※非常勤29人(常勤換算27.76人)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育ルーム利用児童数 21人(常時11人、一時10人) うち医師の利用児童数:8人(常時5人、一時3人) ※3月末</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修を充実するための取り組み</li> <li>・新たな医師の専門医制度に対応した専門研修プログラムの実施</li> </ul>						
<H30年度実績> ※各年度とも翌年4月1日現在 (人)					B	
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29		
医師	81	95.3	86	△ 5		
看護師	322	98.2	327	△ 5		
医療技術員	69	97.2	69	0		
事務職員	16	84.2	18	△ 2		
【合計】	488		500	△ 12		
【嘱託・臨時職員合計】	173		168	5		
【総合計】	661		668	△ 7		
※事業管理者除く						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不足する特定部門の職員の募集計画</li> <li>・地域の求人情報誌の活用、看護部による学校訪問</li> <li>・看護師の再就職支援講習会への協力</li> <li>・看護師・助産師のインターンシップ(見学・体験)の実施</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育ルーム利用児童数 21人(常時11人、一時10人) うち医師以外の利用児童数:13人(常時6人、一時7人) ※3月末</li> </ul>						
<H30年度実績> (%)					B	
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29		
医業収益に対する職員給与費の割合 ※2	47.1	103.0	46.1	1.0		
医業収益に対する給与費総額の割合	49.7		49.4	0.3		
※1 上記の達成率(%)=目標値/実績値*100						
※2 職員給与費=地方公営企業会計基準により臨時職員の賃金等を除いたもの						

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等	H30年度の実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																																																																																					
(2)PFI事業の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>新事業者による業務開始に向けた適正かつ円滑な手続き</li> <li>民間のノウハウを活かした経営支援機能の発揮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者選定に向けた手続きの実施</li> <li>新事業者によるPFI事業内容等の確定</li> <li>医療サービスの向上</li> <li>患者サービスの向上</li> <li>コストの縮減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者選定から事業内容の確定に向けた手続き(H30) 八尾市立病院PFI事業者選定審査委員会の開催、優先交渉権者の選定(8月)、事業内容等の協議、債務負担行為限度額の補正予算案を市議会に提出(12月)、事業契約の締結(3/25) ※2期計画額:1,046億1,379万3千円(R15年度までの15年間)</li> <li>第1期PFI事業(H30年度末に維持管理・運営期間を終了) 事業費用:643億2,964万円(H30年度までの15年間)</li> <li>医療サービスの向上 施設基準取得への提案、医療機器の整備・更新、広報活動、ベンチマーク分析等によるサポート等</li> <li>患者サービスの向上 患者満足度向上、ロビーコンサートの運営、TQM活動等</li> <li>コストの縮減 薬品・診療材料に係る価格削減活動、省エネの取り組み等</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期PFI事業については、八尾市立病院PFI事業者選定審査委員会において優先交渉権者を決定し、その後、事業契約締結に向けて、事業内容等の協議を行い、R15年までの15年間で1,046億1,379万3千円を債務負担行為限度額とする補正予算案を12月に市議会に提出し、議会の承認後、H31年3月25日に事業契約を締結した。</li> <li>医療現場、事務部門とPFI事業者の日常的な協力により、医療サービスの向上、患者サービスの向上、コストの縮減に努めるとともに、材料の調達や医療機器等の更新なども随時交渉の進捗を確認しながら進めた。</li> </ul>																																																																																					
(3)医業収益の確保 ①収益性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間延入院患者数 年間 124,830 人</li> <li>病床利用率 90.0 %</li> <li>年間延外来患者数 年間 203,740 人</li> <li>入院患者1人1日当たり診療収入 68,495 円</li> <li>外来患者1人1日当たり診療収入 17,598 円</li> <li>新入院患者数 年間 11,100 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度医療と看護体制の充実による入院・外来収益の増</li> <li>施設基準の維持、新たな加算の取得</li> <li>DPC方式による診療データの分析・活用</li> <li>医療機能に係る各種指標管理</li> <li>医療現場への改善提案</li> <li>高度医療機器を活用した検査・治療の充実</li> <li>検査待ち日数の短縮化</li> <li>適切な入院期間での退院の促進</li> </ul>	<p>&lt;H30年度実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間延入院患者数(人)</td> <td>127,264</td> <td>101.9</td> <td>124,731</td> <td>2,533</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>91.8</td> <td>102.0</td> <td>89.9</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>年間延外来患者数(人)</td> <td>207,980</td> <td>102.1</td> <td>205,519</td> <td>2,461</td> </tr> <tr> <td>入院患者1人1日当診療収入(円)</td> <td>67,450</td> <td>98.5</td> <td>67,437</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>外来患者1人1日当診療収入(円)</td> <td>18,953</td> <td>107.7</td> <td>17,468</td> <td>1,485</td> </tr> <tr> <td>新入院患者数(人)</td> <td>11,553</td> <td>104.1</td> <td>11,239</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>5西、6西、ICU、NICU(%)</td> <td>72.9</td> <td></td> <td>72.7</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>その他の病床利用率(%)</td> <td>97.5</td> <td></td> <td>95.2</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>10.0</td> <td></td> <td>10.1</td> <td>△ 0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;H30年度実績&gt; (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>17,670</td> <td></td> <td>16,263</td> <td>1,407</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>7,549</td> <td></td> <td>7,200</td> <td>349</td> </tr> <tr> <td>マンモグラフィ</td> <td>2,799</td> <td></td> <td>3,810</td> <td>△ 1,011</td> </tr> <tr> <td>血管撮影(検査・治療)</td> <td>2,045</td> <td></td> <td>2,119</td> <td>△ 74</td> </tr> <tr> <td>内視鏡(検査・治療)</td> <td>5,834</td> <td></td> <td>5,834</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>超音波検査</td> <td>16,105</td> <td></td> <td>15,449</td> <td>656</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>算定件数等による增收 医師事務作業補助加算 2,477万円</li> <li>DPC・コーディング委員会による分析・検討と現場への提案</li> <li>他病院との比較により改善すべき疾患例を抽出して各部門にフィードバック</li> <li>退院時点検(コード適正化)効果額 5,725万円</li> <li>(入退院支援センターとしての取り組み) <ul style="list-style-type: none"> <li>関西労災病院を先行事例として見学(4/17)</li> <li>日曜入院等の予定入院を対象に入院前支援を試行(6/5～)</li> <li>旧栄養指導室に移転して試行開始(8/27～)</li> <li>入退院支援実績数(H30) 898件 外科(胃がんバス含む)237件、循環器内科86件、産婦人科267件、整形外科88件、泌尿器科220件</li> <li>薬剤部との連携を開始(10月～) H30:278件</li> </ul> </li> </ul>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	年間延入院患者数(人)	127,264	101.9	124,731	2,533	病床利用率(%)	91.8	102.0	89.9	1.9	年間延外来患者数(人)	207,980	102.1	205,519	2,461	入院患者1人1日当診療収入(円)	67,450	98.5	67,437	13	外来患者1人1日当診療収入(円)	18,953	107.7	17,468	1,485	新入院患者数(人)	11,553	104.1	11,239	314	5西、6西、ICU、NICU(%)	72.9		72.7	0.2	その他の病床利用率(%)	97.5		95.2	2.3	平均在院日数(日)	10.0		10.1	△ 0.1	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	CT	17,670		16,263	1,407	MRI	7,549		7,200	349	マンモグラフィ	2,799		3,810	△ 1,011	血管撮影(検査・治療)	2,045		2,119	△ 74	内視鏡(検査・治療)	5,834		5,834	0	超音波検査	16,105		15,449	656	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>延入院患者数は、新入院患者数が増加したこともあり、前年度実績に比べて、外科で3,360人等増加で前年度実績及び目標を上回り、病床利用率も初めて90%を超えて91.8%となった。</li> <li>延外来患者数は、前年度実績に比べて、内科で2,122人等増加したことにより、前年度実績及び目標を上回った。</li> <li>診療単価については、特に外来で高額医薬品を用いた化學療法等による高度医療の推進等により、前年度実績に比べて1,485円上昇した。なお、入院診療単価については、償還材料のマイナス改定により、上昇が抑えられたものである。</li> <li>政策医療に関係する病床(小児科、産婦人科、ICU、NICU)の病床利用率は、前年度実績に比べて0.2ポイント上昇し、その他の病床も2.3ポイント上昇した。</li> <li>MRIについては、2台のうち1台の更新にあたり、1台の稼働停止期間が約2ヵ月ほどあったが、その間の予約枠の減少を最小限に抑えるために、9月から枠を拡大して対応したこともあり、前年度実績に比べて349件増加した。</li> <li>その他では、前年度実績に比べて、CTは1,407人(8.7%)増、超音波検査で656人(4.2%)増となったが、マンモグラフィが地域医療機関との医療連携が進んだことにより、1,011人(26.5%)減少した。</li> <li>DPCコーディング委員会、診療報酬委員会において、DPC分析ツールを活用したベンチマーク分析、施設基準や加算の検討など、医療安全に配慮しながら収益とコストの両面からの適切な分析と情報提供を行った。</li> <li>入退院支援センターについては、入院前から退院までの切れ目のない患者支援のために、プロジェクトチームをつくり、試行しながら調整を行い、H31からの実施に向けて取り組みを進めた。</li> </ul>
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																																																																																						
年間延入院患者数(人)	127,264	101.9	124,731	2,533																																																																																						
病床利用率(%)	91.8	102.0	89.9	1.9																																																																																						
年間延外来患者数(人)	207,980	102.1	205,519	2,461																																																																																						
入院患者1人1日当診療収入(円)	67,450	98.5	67,437	13																																																																																						
外来患者1人1日当診療収入(円)	18,953	107.7	17,468	1,485																																																																																						
新入院患者数(人)	11,553	104.1	11,239	314																																																																																						
5西、6西、ICU、NICU(%)	72.9		72.7	0.2																																																																																						
その他の病床利用率(%)	97.5		95.2	2.3																																																																																						
平均在院日数(日)	10.0		10.1	△ 0.1																																																																																						
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																																																																																						
CT	17,670		16,263	1,407																																																																																						
MRI	7,549		7,200	349																																																																																						
マンモグラフィ	2,799		3,810	△ 1,011																																																																																						
血管撮影(検査・治療)	2,045		2,119	△ 74																																																																																						
内視鏡(検査・治療)	5,834		5,834	0																																																																																						
超音波検査	16,105		15,449	656																																																																																						

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等	H30年度の実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																														
②診療報酬の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療報酬への適切な反映</li> <li>・未収金の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療報酬委員会での分析と対応</li> <li>・審査機関の査定への対応</li> <li>・債権管理条例の施行に対応した管理体制の実施</li> <li>・窓口未収金の督促・未収金発生防止策の実施</li> </ul>	<p>&lt;H30年度実績(2月請求分まで)&gt; (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レセプト平均査定率 ※</td> <td>0.50</td> <td></td> <td>0.49</td> <td>0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>・診療報酬精度調査(年2回)等</p> <p>・査定に対する検証と対策(算定方法見直し、異議申請等)</p> <p>&lt;H30年度実績&gt; (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>窓口収入徴収率(現年)</td> <td>99.0</td> <td></td> <td>99.3</td> <td>△ 0.3</td> </tr> <tr> <td>電話督促件数</td> <td>1,614</td> <td></td> <td>1,616</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>文書督促件数</td> <td>570</td> <td></td> <td>560</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	レセプト平均査定率 ※	0.50		0.49	0.01	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	窓口収入徴収率(現年)	99.0		99.3	△ 0.3	電話督促件数	1,614		1,616	△ 2	文書督促件数	570		560	10	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・査定率については、前年度実績に比べて0.01ポイント悪化した。がん手術件数、高額な診療材料の使用量増加等に伴い収益が増加した反面、査定額も大きくなる傾向が続いている。</li> <li>・診療報酬精度調査等を継続し適正な請求に努めるとともに、査定に対する検証と対策(算定方法見直し、異議申請等)等を継続した。</li> <li>・窓口収入の徴収率については、前年度実績に比べて0.3ポイント低下したが、未収金については、引き続き定期的な働きかけにより早期の収納に努めた。</li> </ul>
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
レセプト平均査定率 ※	0.50		0.49	0.01																															
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
窓口収入徴収率(現年)	99.0		99.3	△ 0.3																															
電話督促件数	1,614		1,616	△ 2																															
文書督促件数	570		560	10																															
(4)材料費の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医業収益に対する材料費の割合 26.3 %以下</li> <li>・後発医薬品指數 87.6 %以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医業収益向上の取り組みと合わせた相対的な材料費比率の抑制</li> <li>・薬品や診療材料の診療報酬への反映を検証</li> <li>【診療材料】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同購入品数の増</li> <li>・PFI事業者と現場の協力による価格交渉</li> <li>・診療材料の市場価格調査</li> <li>・SPCにおいて、半期毎の削減計画</li> </ul> </li> <li>【医薬品】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・後発品への切り替え促進</li> <li>・単価交渉の取り組み状況の確認</li> <li>・薬剤部から医師への働きかけを継続</li> <li>・協力企業の交渉状況のモニタリング</li> </ul> </li> </ul>	<p>&lt;H30年度実績&gt; (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医業収益に対する材料費の割合 ※1</td> <td>26.6</td> <td>98.9</td> <td>25.9</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品指數 ※2 (数量シェア)</td> <td>90.0</td> <td>102.7</td> <td>88.1</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用率</td> <td>24.2</td> <td></td> <td>22.0</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品使用率</td> <td>7.7</td> <td></td> <td>9.0</td> <td>△ 1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 上記の進捗率(%)=目標値/実績値*100 (低いほど良い)  ※2 後発医薬品に係る算定にあたっては、血液、麻薬、RI薬品を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護法の改正により被保護者には後発医薬品を原則支給</li> <li>・共同購入還元金分 27,310千円(税抜)</li> <li>・調達コスト削減の取り組みによる効果額 16,103千円(税抜)</li> </ul>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	医業収益に対する材料費の割合 ※1	26.6	98.9	25.9	0.7	後発医薬品指數 ※2 (数量シェア)	90.0	102.7	88.1	1.9	後発医薬品採用率	24.2		22.0	2.2	後発医薬品使用率	7.7		9.0	△ 1.3	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医業収益に対する材料費の割合については、医業収益が対前年度5億1,582万円(4.1%)増加したものの、材料費が高額薬品の使用等により、対前年度2億2,719万円(7.0%)増加したため、数値としては0.7ポイント悪化して目標を下回った。</li> <li>・後発品の使用状況に関する指標のひとつである後発医薬品指數は目標を上回っており、切り替えは進んでいるが、一方で高度医療の充実により材料費の伸びは続くものと予想されるため、引き続き現場の理解と協力のもと、PFI事業者の値引き交渉や同種同効品への切替提案の強化、また共同購入のメリットを生かしたコスト削減の取り組みを求めていく。</li> </ul>					
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
医業収益に対する材料費の割合 ※1	26.6	98.9	25.9	0.7																															
後発医薬品指數 ※2 (数量シェア)	90.0	102.7	88.1	1.9																															
後発医薬品採用率	24.2		22.0	2.2																															
後発医薬品使用率	7.7		9.0	△ 1.3																															
(5)医療機器などの整備・更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能拡充に向けた施設整備</li> <li>・必要性、導入効果等を勘案し、計画的に購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器の状態、今後の医療ニーズと診療体制を踏まえた計画的な取り組み</li> <li>・医療機器関連費用、財源、収支への影響を考慮した計画的な整備・更新</li> </ul>	<p>&lt;H30年度実績&gt; (税抜: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等購入費</td> <td>620</td> <td></td> <td>763</td> <td>△ 143</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器等整備委員会における更新対象機器の現状と優先度を踏まえた購入選定、価格交渉状況の確認等</li> <li>・毎年度計画更新の医療機器 部門システム、手術台、エコー</li> <li>・主な高額医療機器更新 MRI、超音波診断装置、手術用顕微鏡、手術台、内視鏡ファーリングシステム等の部門システム等</li> </ul>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	医療機器等購入費	620		763	△ 143	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器については、新病院開院後15年目となり、開院時に購入したものが順次更新時期を迎えていたため、診療科ごとのヒアリングを行い、使用不可や修繕不可等による更新要求について、現在の状況と優先度を確認し、医療機器等整備委員会でPFI事業者の交渉状況をチェックしながら適正な価格による購入に努めた。</li> <li>・H30には、計画的に更新する内視鏡ファーリングシステム等の部門システムのほか、MRI、超音波診断装置等の高額医療機器を更新した。</li> </ul>																				
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
医療機器等購入費	620		763	△ 143																															
(6)施設・設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院・外来診療に支障のない適切な施設・整備の維持管理・更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の現状、今後の医療ニーズ、診療体制を踏まえた計画的な取り組み</li> <li>・施設設備の維持管理経費、財源、収支への影響を考慮した計画的な整備・更新</li> </ul>	<p>&lt;H30年度実績&gt; (税抜: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設設備の建設改良工事費</td> <td>134</td> <td></td> <td>15</td> <td>119</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PFI事業(建設・設備維持管理業務)における計画的な修繕の検討</li> <li>・更新工事 病床再編に伴う6階病棟の改修工事、電話交換機設備更新、基幹系・情報系ネットワーク更新工事、MRI室改修工事</li> </ul>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	施設設備の建設改良工事費	134		15	119	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の建設改良工事費については、予算の範囲内で必要な工事を実施した。</li> <li>・H30には、病床再編に伴う6階病棟の小児病床を小児・成人病床にする改修工事、基幹系・情報系ネットワークシステムの更新、MRI室の改修工事等を行った。</li> </ul>																				
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																															
施設設備の建設改良工事費	134		15	119																															

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法等
(7)省エネルギーの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー化に向けた検討・実施</li> <li>・電気・ガス・水道の使用量の減(前年度以下)</li> <li>・ごみの減量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー推進委員会の活動</li> <li>・効果的な節電(ガス)・節水対策の継続実施</li> <li>・ごみ減量計画の策定と実施</li> </ul>

H30年度の実施状況	評価	取り組みの評価・課題等																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー推進委員会による削減の取組み 電気・水の使用量を階層や部門ごとに測定 病棟における電力消費量のチェック 日常管理運営における負荷軽減</li> <li>・夏季・冬季の節電対策の継続実施 執務室の室温28度設定の徹底、消灯勧行 上りエスカレータの16時以降の運転停止 自動扉の一部閉鎖、自販機の省エネモード運用 ・雑用水の再生水活用(再生水23.7千m<sup>3</sup>・639千円)</li> </ul> <p>&lt;H30年度実績&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>進捗率(%)</th> <th>H29</th> <th>H30-H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気(千kwh)</td> <td>7,552</td> <td></td> <td>7,505</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>ガス(千m<sup>3</sup>)</td> <td>1,187</td> <td></td> <td>1,245</td> <td>△ 58</td> </tr> <tr> <td>水道(千m<sup>3</sup>)・再生水(千m<sup>3</sup>)</td> <td>120</td> <td></td> <td>123</td> <td>△ 3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度の金額(税抜き) ( )は前年度比 電気 124,765千円(0.6%) ガス 80,428千円(6.8%) 水道 57,452千円(▲3.4%) ※再生水・下水道使用料含む 合計 262,645千円(1.5%)</li> <li>・省エネ法に基づく計画 (目標:前年度比 1%削減) エネルギー使用原単位 102.0KL/m<sup>3</sup>(前年度比 2.3%削減)</li> <li>・ごみ減量計画の作成と関係機関への提出 ・可燃ごみの排出量の管理</li> </ul>	項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29	電気(千kwh)	7,552		7,505	47	ガス(千m <sup>3</sup> )	1,187		1,245	△ 58	水道(千m <sup>3</sup> )・再生水(千m <sup>3</sup> )	120		123	△ 3	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30の省エネルギー対策の取り組みについては、日常管理運営で取り組める項目として、大型排気ファンの間欠運転、空調機の温度と運転の手動管理、冷凍機の設定温度管理等を実施した。</li> <li>・夏季の節電対策については、これまでの取り組みを継続するとともに、省エネルギー推進委員会の方針のもと、病棟を中心とした電力消費量の測定継続、パトロール等を実施した。</li> <li>・ガス・水道については、前年度実績に比べて使用量が減少しているが、電気については、患者数の増加の影響と猛暑に対するクーラーの使用推奨により、使用量が増加した。また、金額ベースでは、ガス料金の単価が上昇したため、6.8%増加しており、全体でも1.5%増加した。患者数の増加や猛暑への対策によるものであるが、今後もより一層、削減の取り組みを進めていく。</li> <li>・省エネルギー化に向けた取り組みとして、省エネ法における患者数・病床利用率を考慮したエネルギー使用量(電気・ガス等)を計測する「エネルギー使用原単位」では、目標である前年度比1%削減を上回る2.3%の削減が達成できており、全体として取り組みの効果が見られる。</li> </ul>
項目	H30	進捗率(%)	H29	H30-H29																		
電気(千kwh)	7,552		7,505	47																		
ガス(千m <sup>3</sup> )	1,187		1,245	△ 58																		
水道(千m <sup>3</sup> )・再生水(千m <sup>3</sup> )	120		123	△ 3																		